

**製品名: GPER1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21139**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:42kD;Observed MW:55kD

**抗原情報**

遺伝子名	GPER1
別名	
遺伝子 ID	2852.0
SwissProt ID	Q99527
免疫原	-

**背景**

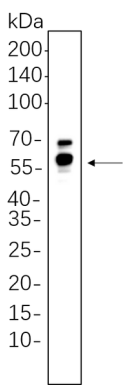
細胞局在: 膜。この遺伝子は G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属し、小胞体に局在する多回膜貫通タンパク質をコードする。

このタンパク質はエストロゲンに結合し、細胞内カルシウム動員と核内ホスファチジルイノシトール3,4,5-トリスリン酸の合成をもたらす。したがって、このタンパク質は、細胞や組織をエストロゲンで刺激した後に広く観察される、迅速な非ゲノムシグナル伝達において役割を果たしている。同じタンパク質をコードする代替転写スプライスバリエントが同定されている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



マウス脳全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを GPER1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。